

つれづれ

平成30年1月23日(火)

超一流とは



昨年、将棋界では多くの話題がありました。中学生プロ棋士の藤井聡太さんが、プロデビュー戦から29連勝の快進撃を続け、連勝記録を更新したことは記憶に新しいところです。その後の30戦目では負けを喫したものの、この大記録に将棋ファンは大いに湧きました。

将棋の世界には、竜王戦、名人戦など、七つの大きな大会があり、それぞれの大会を制した棋士には竜王、名人などの称号が与えられます。また、それぞれの王座を有した期間により、称号の前に「永世」という言葉がついた呼び名になります。例えば、永世竜王、永世名人などとなるわけです。12月には、羽生善治さんが七つの全ての称号に「永世」がつく永世七冠という大偉業を成し遂げました。このことについても、大いに話題になりました。

この両者は、いずれも天才と言われることがあります。しかし、才能だけで勝負に勝てるものではありません。彼らは、私たちの想像をはるかに超える努力をしているに違いありません。

将棋界から、元気の出る話題を提供してくれている羽生さんと藤井さんの直接対決が、来月に実現します。駒の動かし方くらいしか分からない私でも、どのような結果になるのか興味は尽きません。

ところで、羽生善治さんは過去にこんな言葉を残しています。私の好きな言葉です。「三流は人の話を聞かない。二流は人の話を聞く。一流は人の話を聞いて実行する。超一流は人の話を聞いて工夫する。」

超一流と言われる両者が結果を出せるのは、人から聞いたこと、学んだことを、自分のものにするための努力と工夫をしているからではないかと思えます。私たちの、学びにもいかしていきたいものです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>